



また、「フェスタ・コラール」は、郡内の小・中・高等学校に参加を募り、私たちポーコ・ア・ポコが主催している合唱祭ですが、子どもたちが心をひとつにしてみんなでひとつのものを創りあげる喜びを体感できる場になればとの思いで、十二年前から開催しています。ゴールデンウィークの「民俗辻広場まつり」の折には、歌うだけではなく、ポーコ・ア・ポコ名物「チーズたこ焼き」を販売し、その経費にあてています。さて、一番肝心な演奏会ですが、前回の第四回演奏会から三年が経とうとしています。「そろそろ第五回演奏会を！」との年賀状が、指揮者の高岡先生から届きました。

毎週土曜日、午後二時～四時、八千種研修センターで練習しています。常時団員募集中です。次の演奏会には、一緒に歌いましょう!!  
最後になりましたが「ポーコ・ア・ポコ」というのは音楽用語で「徐々に」という意味です。私たちは「ポチポチ」と訳しています。

## 中国語教室入門

福崎中国語教室

駒田英子

ニイ好!

中国語教室が公民館クラブとして発足してお陰様で六年になります。今のところは未だ入門、初級レベルです。中国語は難しいとよく言われます。私たちも学習歴は長いのに遅々として進歩しませんがそれなりに楽しく学習しています。一時間がすぐ過ぎてしまいます。

講師は本校(姫路)以外に各地に教室をお持ちの中国人の先生で生徒のレベルに合った的確で心の通った指導をしてください。年一回、他教室の皆さんとの交流会があり、先日も八十歳代の生徒さんに「継続は力なり」と励まされて帰って来ました。



初心者が何人か集まれば、一から学ぶ教室も設定可能です。

時々町外から中国語クラブについての問い合わせがあります。やはり教室を設けて講師を依頼し安定して学習すると難しそうです。福崎町は大変恵まれているといつも感謝しています。

福崎町にはたくさんのお若い優秀な中国人研修生が、各企業に来ています。聞くところによりますと、初めて日本に研修生として来て、ある会社に出勤の朝、道を間違えてやっとなどどろついた途端ワァーツと泣き出したそうです。彼女たちも日本の

娘さんと同じなんだとちょっと安心しました。ポニーテールの髪をなびかせ自転車で走る小集団をよく見かけます。二年、三年の研修を終え、帰国する頃は、仕事の技術以外にも多くの事を学習して帰って行くと思います。

日本においてもこれまで、これからの様々な問題と直面する事でしょう。だからと言って隣国ですし、関わらないですまされません。身近なところからお互いを知る努力をすべきではないでしょうか。言葉は交流の扉、カタコトでも通じたら嬉しいです。

また、先日のテレビによりまずと語学学習は、認知症予防にも適しているそうです。

私たちクラブ会員は、中国語を学び始めたきっかけは様々ですが、今も中国の大自然、歴史、文化や中国語の魅力にはまって何となく離れられないでいます。どうか来永くこのクラブが発展しますように。

毎週土曜日午前九時から、午前十時十分からの二教室です。どうぞ見学にいらしてください。年一回文化センターの小ホールで中国映画(DVD)を鑑賞しています。

有機會再見!

## クラブ紹介

## フラワーデザイン

フラワーデザイン教室

坪田 美貴子

私がフラワーデザインで文化センターの公民館活動に参加させていただくことになったのは、今は亡き高田朝子先生が病に倒れられて「あの事は、お願いしませぬ。」と言われて、お引き受けしてから随分年月が経ったように思います。これまで細々ながらも続ける事ができましたのは、皆様のご協力とせっかく高田先生から引き継いだ教室を閉鎖しては申し訳ないという思いからでした。

フラワーデザイン教室は毎月第二、第四土曜日午後一時より文化センター一階の和室をお借りして開いています。内容はと申しますと、フラワーデザインの中の生花のアレンジメントとアートフラワーをお教えます。アートフラワーとは、飯田深雪先生の独自の名前であり、本来私たちは使えない名前だと聞いていますが、世間一般にアートフラワーと呼んでいます。私達が使ええるのは、いわゆる「染の花」です。うす絹、サテン、ビロード、その他いろいろ

の白生地を使って一枚一枚花びらや葉っぱの形を切り、染料で色をつけ、おこてでその花、その葉の特徴を形づけて組み立てていきます。何枚も何枚もの小さな花びらを集めて一輪の花になった時の喜びと感動は、筆舌に尽くし難いものがあります。でき上がった花の一輪、一輪が愛おしく、その作品を季節に先がけて家に飾った時、ちょうどおいでになったお客様が「今年、はや牡丹咲いたんですか」と聞かれた時は、まさに本物に見えた瞬間だったと今も鮮明に憶えています。

一方アレンジメントは、本当の生きたお花を使って活け込んでいきますが日本の生け花が空間を活かし、夏は足元の水が多く見えるように活け、冬は水を隠すように活けるのは違って、足元のオアシス（吸水性スポンジ）が見えないように活け込んでいきます。形もドーム（円型）、トライアングュラー（三角形）、ファン（扇型）、ホリゾンタル（円の一部）などありますが初歩から基本をマスターすれば後は、フリー（自由型）に活かしていただけます。外国から入ってきたと言うことで、横文字の名前が多く使われていますので、もっと身近なものと感じていただき

ますように花材はお花屋さんのお花ばかりではなく、私はできるだけ裏の畑にあるものや、少し歩けば行ける山や野辺の花や木を使ってアレンジしています。秋の福崎まつりの展示会には必ず秋の野辺をイメージできる作品を出品して「ほっとするわ」とか「この前でお弁当をひろげたくなったわ」とか言ってもらって喜んでいきます。

現在アレンジメントを習ってくださる生徒さんに、同じ花を同じ数だけお渡ししても、できた作品は、二つとして同じものはありません。これはお一人、お一人が持つておられる個性が花を通して表現できる素晴らしいことだと思っております。これからも個性を活かし、楽しい教室を続けたいと願っています。



## えっ、もう二十五年目！

女声合唱団ボーコ・ア・ポコ

山田 せい子

二十四年前の一月、郡内で初めてのPTAコーラスとして、田原小学校PTAコーラス「ボーコ・ア・ポコ」が誕生しました。その後、練習場所が田原小学校から八千種研修センターに移り、結成一〇年後からは「女声合唱団ボーコ・ア・ポコ」として、現在に至っています。団員は、名簿上は約五〇名、その内十数人が諸々の事情で休団中。四〇人弱のメンバーで活動しています。

年の始めにあたり、四半世紀があつという間に過ぎた事にあらためて驚いています。数年前から毎年一人二人と還暦を迎えるようになり、新年会で鍋を囲みながらみんなでお祝いするのが恒例となっています。年間のスケジュールは、一月末の福崎町文化協会主催の「ふるさと文化祭」に始まり、民俗辻広場まつり、かんざき合唱祭、フェスタ・カラー、八千種研修センターまつりと続きます。その他に昨年は、吉田公民館竣工お祝い会、八反田敬老会、神河町南小田小学校、市川町瀬加中学校音楽会へ呼んでいただきました。